

アオスジアゲハ	ナミアゲハ	アカタテハ
		
<p>食草のクスノキが神社や公園などに植えられているので、町中でも普通に見られる。高い木の上などを素早く飛ぶ。ヤブガラシなどの花に来る。</p>	<p>公園や家の庭などでも普通に見られる。日当たりの良い茂みの縁を好み、ツツジやヒガンバナなどの赤い花に集まる。</p>	<p>平地から高原までのさまざまな場所でみられる。活発に飛び、花のほか、樹液にも来る。成虫で冬をこす。食草はカラムシやヤブマオなど。</p>
ベニシジミ	ナナホシテントウ	ナミテントウ
		
<p>地面近くを素早く飛ぶが、すぐに花や葉にとまる。雄は地上近くになわばりを持つ。ヒメジョオンやレンゲの花などに良く来る。食草はスイバやギシギシ。</p>	<p>平地から山地にかけて、ごく普通に見られる。成虫・幼虫ともに肉食性で、アブラムシを食べる。成虫で越冬する。</p>	<p>農地・草地・林の周辺などにみられる。アブラムシを食べる。冬は成虫のまま、人家の戸の隙間や岩の割れ目で集団越冬する。</p>

参考資料：むし、文一総合出版

オオカマキリ	オンブバッタ	ニシカワトンボ
		
<p>まばらな林の縁など、低木地帯に見られる。卵のうは枝や草の茎などに産む。</p>	<p>雄と雌では体長が違い、雌はかなり大型となる。緑色型と褐色型の2つのタイプがある。畑や草地にごく普通にみられる。雌の上に雄が乗っていることが良くある。</p>	<p>山地から平地の谷川や小川に発生する。羽の色に変化があり、地理的に複雑にまじりあっている。原則として雄の羽は透明型とオレンジ型、雌の羽は透明型。</p>
シオカラトンボ	マルカメムシ	アオクサカメムシ
		
<p>平地や丘陵地、低山地の池や沼・湿地・水田などに発生し、最も普通に見られる。</p>	<p>平地から山地にかけてみられ、クズのつるや葉に群れているのをよく見かける。室内に入って臭い匂いが問題になることがある。</p>	<p>果物や野菜の実の汁を吸います。そのため、農作物の害虫として農家を困らせません。カメムシ類は外敵から襲われていたときに、不愉快な匂いを出します。</p>

参考資料：むし、文一総合出版